

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

April / 13 / 2018 # 61

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『新年度』

[2] Pepeのひとりごと

『いいレッスンを受けるために』

[3] おすすめ動画

『TEW 2017: David Childs Recital』

『準備委員会メッセージ・ITF2020Japan実現プロジェクト』

[4] 演奏のヒント！

『発音』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『新年度』

4月になり、新しい環境で生活をはじめた人も多くいると思います。中には新しく楽器を始めた人、これまでとは違う楽器と演奏することになった人、同じ楽器を演奏していても、違うバンド、学校で演奏活動を始めることになった人、などいろいろな新しい環境があると思います。

もちろん、最初は緊張しますよねえ。

でも、何も慌てることはありません。毎日小さな楽しみ、喜びを見つけよう

としながら過ごしていると、きっと全てうまく回っていきますよ！
小さな幸せとともに、新しい環境でも前を向いて過ごしてくださいね。

新しい環境に身を置いて、これまでとは違って急に「上手になりたい！！」
と思い始めた人もいるかと思いますが、それは都合のいい話です（笑）。
急激に気持ちが本気になったからといって、すぐに上手になるようなもの
ではありません（残念ながら）。

上手になるためには、正しい方法で、正しい方向にむかってコツコツと
努力を積み重ねていくことしかないと思います。

その助けになるのは、レッスンを受けることだと思います。
大きな町や小さな町で多少の違いはあるでしょうが、きっと自分に
近いところにレッスンを受けられる環境はあると思います。
時間や努力をムダにしないためにも、早く上手になりたければ、
レッスンを受けてみることをオススメしますよ。 :)

[2] Pepeのひとりごと

『いいレッスンを受けるために』

上で書いた「レッスン」を受けることに関して、その際の先生の選択と
いうのはとても重要なポイントだと思います。

自分自身の性格に合わせたレッスンをしてくれる先生（生徒に合わせて
レッスンのやり方を変えられる先生）もいれば、レッスンのやり方は
どの生徒に対しても同じようにする先生もいます。
どちらが正しいというのはないと思いますが、自分に合ったレッスン
（先生）を選ぶことは、とても重要なことです。
多少の時間がかかっても、しっかりと選ぶようにしてくださいね。

可能であれば、体験レッスン（お試しレッスン？）のようなものを
一度受けてみるといいと思います。
そういうものがシステムとしてなくても、自分で問い合わせしてみて
「一度レッスンを受けてみてから定期的にレッスンを受けるかどうかを
判断したい」という旨を説明してみると、きっと対応してくれる
ところはあると思います。

自分が損をしないためにも、そのあたりは積極的にやってみることを
オススメします！

[3] おすすめ動画

『TEW 2017: David Childs Recital』

<https://www.youtube.com/watch?v=jeykmmQIHZE&t=1s&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=9>

今月の1つ目の動画は、僕もいつも強い影響を受けている
Euphonium奏者のDavid (Childs氏) のリサイタルの演奏です。

毎度、彼の演奏のパワフルさには感心します。

もちろんこのリサイタルでもそう。 :)

見習って、僕もがんばろう！！ :D

『準備委員会メッセージ・ITF2020Japan実現プロジェクト』

https://www.youtube.com/watch?v=FJ-_PFXYUBk&t=0s&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2

2つ目の動画は、今年に入って本格的に動き始めた活動のものです。

「ITF(International Trombone Festival)を日本で！」という活動で、
毎年世界各地で開催されているITFを日本で開催しよう！というものです。

僕自身、過去に3、4回参加したことがあるITFですが、とても
素晴らしい夢のような数日を過ごせるイベントです。

僕も、ぜひ実現したいと思っています。 :)

[4] 演奏のヒント！

『発音』

発音は、演奏する上でとても重要なことだと感じています。

それ次第で音の持つ個性を活かすこともできるし、聴いている人に
(音量に関係なく) よく聴こえるように吹けるかどうかできます。

僕自身も、フランスへ行った当初はレッスンの度に「違う！」と言われ
続け、発音に関してはとても苦労をしました。

でも、そのおかげか今はいろいろな発音を使いこなすことができるよう
になり、いろいろな表現がやりやすくなったと思っています。

ヨーロッパで数年活動をして日本に戻ってきたときに、最初に違い
として感じたのもこの「発音」でした。

簡単に言うと、発音が曖昧な奏者が日本には多いように感じます。

ヨーロッパ(金管の場合は特にフランス?)で勉強をしっかりとした人には、
やっぱりきれいな発音ができる人が多いように感じますが、残念なのは、

きれいな発音（立ち上がりのいい発音）を「キツイ」だとか「硬い」としか感じられない（きれいな発音ができない、もしくはそもそもきれいな発音というのがどのようなものかわからない）人たちがいるということ・・・（僕も実際にそう言われたこともあります、海外の人たちの演奏を聴いて「うん、これでいいんだ」と思い何回も安心した経験があります。

まあ、価値観の違いと言ってしまったらそれまでなのですが、「きれいな発音」というのが認識できていない人にこういう話をしても通じません（涙）。

ぜひ、気になる人は、実際にその人の演奏を聴いて、興味のある人に直接レッスンを受ける機会を作るなりして理想の発音（音色や音の表情をうまく活かされる発音）を手に入れる努力をしてみてくださいね！

編集後記

今年は3月末にとっても暖かくなって、桜の開花の時期がかなり早かったですね。

みなさん、桜を楽しめましたか？

僕は、満開のときにはちょうど時間の調整がつかず見に行けなかったのですが、満開の直前と直後（笑）には見に行けました。；)

新年度になりましたが、僕個人は特に大きな変化はなく、毎日充実した日々を過ごしています。

新しい環境で生活することになったみなさん、慣れるまで少し時間がかかるでしょうが、マイペースで過ごしていきましょうね。；)

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>